

平成 24 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2 月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 第 1 財 (X_1) と第 2 財 (X_2) を消費する代表的な個人の効用関数が、以下のように示されるとする。第 1 財と第 2 財の価格は、それぞれ P_1 、 P_2 とし、個人の所得は M で表されるとする。

$$u = x_1^\alpha x_2^\beta$$

- (1) 個人の需要関数と間接効用関数を求めよ。
- (2) 個人の補償所得関数と補償需要関数を求めよ。

問 2 消費者が A と B、財が 1 と 2 の純粋交換経済を考える。消費者 $i = A, B$ の財 $j = 1, 2$ の消費を x_{ij} とする。消費者 A の効用関数を $u(x_{A1}, x_{A2}) = \min\{x_{A1}, 2x_{A2}\}$ とし、初期保有を財 1 は ω_{A1} 、財 2 は ω_{A2} とする。消費者 B の効用関数を $v(x_{B1}, x_{B2}) = \min\{x_{B1}, x_{B2}\}$ とし、初期保有を財 1 は ω_{B1} 、財 2 は ω_{B2} とする。財 1 の価格を P_1 とし、財 2 の価格を P_2 とする。なお、市場は完全競争とする。

- (1) 消費者 A の効用最大化問題を定式化し、財 1 と 2 の最適な消費を求めよ。ただし、両財の価格は正であるとする。
- (2) 初期保有が $(\omega_{A1}, \omega_{A2}) = (2, 4)$ 、 $(\omega_{B1}, \omega_{B2}) = (6, 2)$ であるとする。財 1 の消費を横軸、財 2 の消費を縦軸にとったこの経済に対応するエッジワース・ボックスを書き、そこにパレート効率的な配分を書き入れなさい。
- (3) 初期保有が $(\omega_{A1}, \omega_{A2}) = (2, 4)$ 、 $(\omega_{B1}, \omega_{B2}) = (6, 2)$ であるとする。この経済の競争均衡における価格と配分を求めよ。

以上